令和6（2024）年度・補助事業

沖縄文化芸術の創造発信支援事業

沖縄県内の文化芸術活動の新たなチャレンジで
持続可能な取り組みを公募します。

受付期間

2024年 4月15日（月）～4月18日（木）

※応募締切：令和6（2024）年4月18日（木）必着
（持参の場合は17:00まで）

相談期間

2024年 3月18日（月）～4月12日（金）

［受付時間］平日10:00～16:00 ※要予約

補助金額

団体　上限 **500万円**　組織の基盤強化や新事業のチャレンジに！

（補助率1年目=90%、2年目=80%、3年目=70%）

スタートアップ　上限 **100万円**　設立5年未満*1の団体の新たなチャレンジを後押し！

（補助率1年目=90%、2年目=80%、3年目=70%）

個人事業主　上限 **100万円**　フリーランスも応募可能！

（補助率=90%）※個人の補助回数は1回限り

※既存の自社事業の延長となるものや、新規性がみられないものは対象になりません。まずはご相談下さい。

※補助事業は、審査委員会による毎年度の審査・採択を受けることで、最長3回の補助を受けることができます。初年度での採択は次年度以降の採択を確約するものではありません。

※本事業は、国及び県の令和6年度における本予算成立および本事業に係る沖縄振興特別推進交付金の交付決定を前提とするものであり、現時点では全て予定となっております。本交付金の交付決定がなされなかった場合等は実施をしないことがありますので、必ずお問合せください。

*1：スタートアップの対象は、「設立5年未満」または「沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業の採択実績がない」団体

公募する事業区分

本事業では、下記の区分の取り組みを公募します。

※外部有識者による審査の上、沖縄県により交付を決定します。
※下記に示した取組み例は、あくまでも例示です。区分1～3の選択にあたっては、応募する事業の目的、ご自身の活動に即した内容でご応募ください。

1 文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取り組み

・文化芸術活動の継続や強化に向けて、事務局体制の向上や基盤強化を図る取り組み
・文化芸術活動を支える担い手等の育成・継承に関する取り組み
・個人事業主による文化芸術活動の継続や強化に向けた自己研鑽に係る取り組み
・オンライン配信や映像制作のスキルアップのための取り組み など

2 文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取り組み

・認知度の向上やリピーター獲得に向けた体系的な計画を有する文化芸術事業
・創作人材の育成に係る魅力ある創造発信を伴う取り組み
・アーティストの交流等を促進する取り組み
・一過性のイベントではなく、新規性のみられるライブや上映会、公演、展覧会 など

3 文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取り組み

・県内の民間事業所(観光、まちづくり、産業等関連分野)や教育機関(各種学校、図書館、博物館、公民館等)等と連携して行う取り組み
・共生社会実現に向けて関係機関(福祉、国際交流等関連分野)と連携して行う取り組み など

補助対象期間

団体・スタートアップ	個人事業主
交付決定日から令和7年2月28日(金)までに完了する取り組み	交付決定日から令和6年12月31日(火)までに完了する取り組み

補助対象経費

1 人件費　2 事業費*2

*2：(賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料)
※ただし、補助対象経費に係る消費税及び代表者（個人事業主の場合は申請者ご本人）の人件費・報償費等は対象外です。
※概算払い（5割まで）が可能です。

問い合わせ・応募先

応募は期間中に下記まで郵送（配達記録ができるもの）又は持参

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター6階 605
公益財団法人沖縄県文化振興会（沖縄アーツカウンシル）
「沖縄文化芸術の創造発信支援事業」担当者宛

公募の詳細について

沖縄アーツカウンシルのウェブサイトにて公募要領をよくご確認いただき、応募書類をダウンロードの上、作成してください（手書き不可）。
https://okicul-pr.jp/oac/grants/

電話でのお問い合わせ　TEL：098-987-0926（平日9:00～17:00）

Open Call

公募。

沖縄県内の
文化芸術活動の新たな
チャレンジで
持続可能な取り組みを
公募します。

令和6（2024）年度・補助事業

沖縄文化芸術の創造発信支援事業

伝統文化	組踊、琉球芸能、伝統行事、食文化 etc.
芸術	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、メディア芸術(映画、漫画、アニメーション) etc.
芸能	民俗芸能 etc.
生活文化	海人文化 etc.
文化財等	有形及び無形の文化財、歴史的価値がある文書及び記録 etc.

＼ 様々な沖縄の文化・芸術の取り組みが採択されています。まずはご相談下さい。 ／

OKINAWA ARTS COUNCIL

沖縄文化芸術の創造発信支援事業とは

文化芸術に関わる県内の団体等が行う各種の取り組みを補助することにより、本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や文化芸術といった文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図ることを目的としています。ここでは、過去の採択事業者の一部をご紹介します。

団　体

1

沖縄芝居研究会

沖縄芝居における大道具製作の技能伝承

後継者不在である沖縄芝居大道具（舞台セット）製作者を養成するための環境づくりを行った。舞台美術家より指導を受け製作を行い、その過程の記録映像や今後のための資料を残すほか、未来の人材発掘と問題提起のための子ども向けワークショップも実施。披露会にて製作物の展示と記録映像の上映を行うなど、沖縄芝居の現状周知に努めた。

詳しい事業の内容や現在の活動状況はこちら

団　体

2

くらしの中の海洋文化実行委員会

くらしの中の海洋文化

沖縄の海洋文化の象徴である伝統船サバニの造船、操船技術を通して、海と人とのつながりを紐解き、子どもや女性を含む広い関わりの創出をめざした。造船技術の工程の記録や技術継承に関する取り組みの発信、他地域で取り組む団体や個人との意見交換、操船技術やサバニの運用を実践するクラブの立ち上げを行った。

詳しい事業の内容や現在の活動状況はこちら

スタートアップ

3

シマヲツナグ。実行委員会

シマヲツナグ。

宮古島の子どもたちの将来の可能性や視野を広げるきっかけとして、「クリエイター」という職業に触れる機会の創出をめざした。写真撮影や動画編集、デザインについて講師から学べるワークショップを継続して実施し、実践的な体験につなげることで、子どもたちの創造性を育む取り組みを展開した。

詳しい事業の内容や現在の活動状況はこちら

スタートアップ

4

南城市大城区文化保存委員会

組踊「大城大軍」における次代へ継承する新たな事業の取り組み

継承の危機にある南城市大城区に伝わる組踊「大城大軍」における担い手の発掘と育成を目的に、次世代が組踊に接する機会を創出し、地域コミュニティの活性化を図った。八重瀬町志多伯との「芸能交流祭」や継続的な組踊ワークショップを通じて、地域の伝統芸能継承の体制や環境づくりのモデルを模索した。

詳しい事業の内容や現在の活動状況はこちら

個人事業主

5

Sonda Studio　吉本梓

沖縄に自生する月桃の調査、研究、普及事業

沖縄県内における月桃の生態や活用調査に加えて、月桃を用いたものづくりを支えるコミュニティがある台湾でのリサーチを行った。調査した内容をワークショップやウェブで共有することで、生活に身近な素材としての価値を見つめなおし、現代における月桃活用の可能性を模索した。

詳しい事業の内容や現在の活動状況はこちら